

地域行政組織の再編（香川県高松市）

取組概要

組織の効率性を確保しつつ、地域の実情に適応した市民サービスの提供を可能とするため、各出先機関（支所・出張所、保健センター、地域包括支援センター）を再編し、総合センターとして一体的な行政サービスを提供する。

取組の効果

支所・出張所、保健センター、地域包括支援センターの窓口機能の一元化と一体的整備により、きめ細やかな相談を含めて、地域住民のニーズに、より統合的な対応が可能となり、住民福祉や利便性の向上と、個別の施設の維持管理コストの削減が期待できる。

創意・工夫した点

支所・出張所の再編は単独で行われるが、保健センターや地域包括支援センターといった他の出先機関との統合的な再編は、全国でも類を見ない取組である。

他団体へのアドバイス

支所などの出先機関を再編する場合には、他の所管課の施設が地域内にあるかを調査した上で、一体的な整備を検討するという意識を持つことが大切である。本市の場合は、地域包括支援センター・保健センターであったが、貸館施設や体育施設、ホールなどの施設は多く存在しており、いずれも一体的に整備することで、職員の配置などの管理コストが縮減できる可能性がある。

また、本市の場合、既存支所を改修しているため、合併特別債の起債が可能だったため、財源負担も軽減できた。

人口 420,679 人

担当 人事課行政改革推進室



総合センター候補地

